



六中だより

～自主・勤勉・共生～

7月号

No.4

令和元年7月17日発行

港区立六本木中学校

校長 石原 嘉人

1学期間、ご協力ありがとうございました！

校長 石原 嘉人

例年になく涼しい日が続いていますが、あと3日で夏休みとなります。この1学期間、学校の教育活動に対して、ご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

思えばこの1学期は行事と共に生徒たちの成長を見ることができた1学期でした。

奇跡的な好天に恵まれた運動会。日本語と英語の選手宣誓で始まり、練習中には「本番を迎えることができるのか…」と心配されたムカデリレーも、当日は手に汗握る大接戦となり、生徒たちの達成感は大きなものがありました。3年生が1年生を指導する本校のスタイルは、これからも絶やすことのない伝統として受け継いでいってほしいことのひとつです。

1年生の移動教室、3年生の修学旅行と2つの宿泊行事がありましたが、この2つは生徒たちの成長を如実に表すものでした。3年生の修学旅行は自覚をもち、しっかりした行動をとることができました。教員と生徒が信頼関係で結ばれていることがとてもよく伝わってきます。今の1年生も2年間かけてこのように成長していくと考えると成長がとても楽しみです。

今年度は、「六中タイムを利用して、一日の学習を振り返り、家庭学習の計画を立てる」とことと「特別支援学級との交流活動の充実」を重点としてスタートを切りました。

「特別支援学級との交流活動の充実」については、運動会を通して交流クラスを決定し、生徒たちは様々な葛藤の中でお互いの特性を理解し、受け入れることを通して「共同」していたように感じます。「共生」を実現するためにも、自然と交流活動が行えるようになるといいですね。

「六中タイムの活用」については、まだまだ課題があります。取組に対して、生徒一人一人の個人差が大きく、改善の必要性を感じています。課題を整理し、2学期から改善に取り組んでまいりますので、ご家庭においてもご協力願います。

また、7月11日の保護者会で説明した通り、9月中旬から10月中旬までの期間、港区学校教育食育推進指針の「生活習慣」分野のモデル校として、「運動・食事・睡眠休養の改善」に取り組みます。本校では特に、朝食の内容や、寝る時間や起きる時間等の生活習慣を改善することにより、心身の健康、学力向上を図ります。

具体的には次の取組を行いますので、夏休み中意識して生活を送ってください。

1 朝食はバランスよく

希望者に「白身魚たんぱく5g入りソーセージ」を配布し、たんぱく質が欠品しないようにする。

2 早寝・早起きと休日との差を最小限にする

現在より30分から60分起床時間・就寝時間を早くする。休日の起床時間においても平日より1時間以上遅くしないようにする。

3 スマホ等の使用を制限する

スマホ等は、寝る1時間前まで、一日1～2時間以内の使用に制限する。

この取組の内容からは、悪い結果は出るはずがありません。練習のために、夏休み中の何日間かチャレンジしてみてください。

夏休み、規則正しい生活を送り、9月2日に元気に登校してきてください。

卒業生のお話を聞く会

7月4日(木)、第3学年において「卒業生の話を聞く会」を行いました。

この会は、進路選択に向けて、身近な卒業生から話を聞くことによって、今後の生活の指針とすることを目的として行われています。

今回お願いした卒業生は、高校2年生のMさん、高校1年生のGさんとOさんです。

3人ともちょっと見ない間に大人っぽくなり、しっかりした態度で本校の生徒たちに話をしてくれました。

1・2年生も参考になると思いますので、3人の話の中からいくつか紹介します。

★実際に高校説明会に行って受験校を決めた。学力よりも校風を重視して決めた方がよい。

★中学校時代は部活動を一生懸命やっていたので、定期テストについては「死ぬ気で頑張る！」と決めて取り組んだ。

★高校は忙しいけど楽しく、充実している。

★進路のことを考えたのは、中2の夏休み。夏休みの宿題で学校見学に行ったのがきっかけとなった。

★友達との何気ない会話や先生たちとのやり取りはとても大切。一日一日をかみしめて生活してください。

★学校に毎日行くことが大切。それが、自分のペースを崩さないことにつながる。

★大学に入学したい学部があることと、部活動を思い切りできることが進路選択の決め手となった。

★私は推薦で入学したけど、推薦入学の人は学力が低い傾向がある。推薦で進学する人は特にしっかり勉強して進学していくことが大切。

★六中はとてもありがたいところだった。少人数ゆえに色々なチャンスを与えてもらったことが卒業してからわかった。

Q：一日どれくらい勉強したか？

・夏休みは、一日12時間勉強することをノルマとした。(実際には5時間くらいになってしまったけど…)

Q：モチベーションの上げ方は？

- ・将来のいいイメージを想像する。
- ・勉強と遊びをはっきり切り替える。

Q：勉強が嫌になったら？

- ・部活に行ったりしてリフレッシュする。
- ・志を高くもっている人と話す。

夏休みは、まとめて学習するチャンスです。今まで学習した事柄をしっかりと身につけるための学習を進めてください。

命の大切さを学ぶ教室

7月12日(金)に「命の大切さを学ぶ教室」を行いました。この教室は、生徒一人一人に命の大切さを学ばせるとともに、犯罪を許してはならないという規範意識の向上を図ることを目的として行っております。

今年度は、17年前に19歳のご息様を交通事故で亡くされた岩寄悦子様にご講演いただきました。

岩寄様の講演で、岩寄様から本校の生徒たちへ次のようなメッセージをいただきました。

★「皆さんがどれほど大切に、大きな存在で、そして深く愛されているということに気付いてほしい。この広い地球上を探してもあなたに代わることのできる人はいません。あなたという存在の大きさを、そしてあなたの命は決してあなただけのものではありません。あなたを愛するご家族やお友達の命であることをどうぞしっかりと覚えておいてください。」

★「言葉というものは、相手の心に深く響く時もあるけれど、逆に言葉の暴力・いじめとなる場合があります。言葉の暴力というものは流れている血が見えない分、より深くその人の心を傷つけてしまう。皆さんは心の痛みが分かり、相手を思いやる優しい心を持っています。どうぞ、お友達との友情をさらに深く大事に育てていってください。」

しっかりと心に刻み、命の重みがわかる人であってください。

元気くんが手紙を書いた「ケイちゃん」が医師になったことがわかったあたりで、涙が溢れてきてしまったのですが、なんとその「ケイちゃん」は、私の主治医でもあったのです。

元気くんにあてた手紙に感動した一人として、次回の診察時に命について話してこようと強く思いました。